

一般質問通告書

受領日時 令和7年 5月28日 午前11時13分 2番 氏名 小玉 正範

質問項目	質問の要旨
1 町キイチゴ生産について	(1) 本年は、町のキイチゴを宣伝するための予算がもられている。その目的は。 (2) キイチゴを町の特産品・ブランド化するためには、生産を助成する制度を作るべき。町の意向は。 キイチゴの品質を下げずに生産量を増やすには、生産者を守り、働く環境の向上や仕事の効率化を目指して、整備する必要がある出てくることが予想されることから、助成金制度等を作ったほうが良いのではないかと。生産者を守り利益をしっかりと出してもらうことが、若者にとってもキイチゴの生産が魅力的な仕事となることである。
2 各企業等の人手不足対策	(1) 町では、企業等の人材不足の状況を調査しているのか。県では各企業の人手不足を解消するために、7月をめどに外国人材を活用する際の助成制度を作ろうとしている。またいくつかの地方自治体でも今年度中をめどに助成制度を作ろうとしている。3月議会では使い勝手が悪いため、町としては予定がないとの回答だったが、今後このような流れを見て、説明会を開催するなど、何か検討しているのか。 (2) 肉体労働中心の職種において、人材不足を解消するその他の方法を検討しているのか。
3 ごみの分別回収	(1) 以下のごみは、何ごみに分別されるのか。 ・幅が30センチ程度のキーボード・プラスチック製の動くおもちゃ・ノートPC付属のリチウム電池・キャリーバック 町民にとって、上記のごみの分別は何を見れば分かるのか。 (2) 現在の状況にあった分かりやすいチラシを作るべき。 便利帳として冊子も加えて配布する自治体もある。町の意向は。 現在の町の分別表には、スプレー缶は必ず穴をあけて中身を出すよう指示されている。R5年2月頃からは、穴をあけずに出す自治体の方が多い。時代の変化に合わせて作成しなおすべき。
4 医療・保健関係	(1) RSウイルス予防接種の助成をするべき。町の意向は。 RSウイルスは呼吸器感染症の一般的かつ重大な原因。現在のところ、治療薬はなく対処療法だけであるが、予防ワクチンは開発されている。乳幼児は2歳までにほぼ100%感染する。高齢者は感染により、重症化するリスクがあり、基礎疾患がある場合はさらにリスクが高まる。その

	ため、乳幼児期だけでなく、高齢者においても入院や重症化などにより疾病負担が大きいと言われている。このような状況から、RS ウィルスワクチン接種が望まれる。町として接種費用の助成をするべきだが、どうか。 (2) 骨髄バンクのドナー登録を促進するべきだが、町の対応は。 骨髄移植を待つ患者は昨年R 6 年度で1 8 6 9 人、うち移植が行われた患者は、1 2 0 1 人で、実におおよそ2 人に1 人の割合である。骨髄バンクへの登録者が増えることにより、白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、重症再生不良性貧血、免疫不全症、一部の先天性代謝異常症などの患者さんをより多く助けることになる。秋田県のドナーの登録者数は、全国では3 7 位という低い数である。登録を容易にするためのドナー助成制度や休暇制度等の整備や登録の必要性を訴える宣伝をもっとするべきだと考えるが、どうか。
--	---